

- 第1回/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回/久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回/清水 隆史さん フォトグラフィアー(ほか) 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーキュルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長[一級建築士]
- 第7回/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究所 准教授
- 第10回/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回/バドゥ・ピエラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回/小出 陽子さん (同)ふきっ子的お八起代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ 代表理事
- 第22回/薩川 了洋さん AC長野バルセイロ新監督
- 第23回/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 竹村製作所 勤務
- 第25回/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 システックス所属
- 第26回/鈴木 政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営
- 第34回/相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭
- 第35回/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回/薩川 了洋さん AC長野バルセイロ監督
- 第37回/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回/塩澤 研一さん 農業生産法人株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役(財)いのちの森文化財団 代表理事
- 第39回/俣田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回/山田 隆さん しなの鉄道株式会社 専務取締役
- 第41回/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回/美濃部 直彦さん AC長野バルセイロ監督
- 第48回/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回/浅野 邦子さん 株式会社鎚一 代表取締役会長
- 第50回/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

- 第51回/本田 美登里さん AC長野バルセイロ・レディース監督
- 第52回/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回/平山 優さん 歴史研究者
- 第59回/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬建築設計室代表
- 第61回/浅野 哲也さん AC長野バルセイロ監督
- 第62回/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)
- 第65回/野池 裕子さん タイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師
- 第66回/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回/坂橋 克明さん フリーパーソナリティ
- 第68回/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授
- 第69回/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長
- 第70回/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長
- 第71回/山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人
- 第72回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第73回/山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員
- 第74回/松本 克幸さん 協栄電気興業株式会社 取締役副会長
- 第75回/大室 悦賀さん 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ソーシャル・イノベーション創出センター長
- 第76回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第77回/水間 源さん 東御市役所 地域おこし協力隊
- 第78回/小澤 吉則さん 一般財団法人 長野経済研究所 理事・調査部長
- 第79回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第80回/森田 舞さん ゆめサボママ@ながの 共同代表
- 第81回/新井 精一さん 千広建設株式会社代表取締役
- 第82回/竹内 伊吉さん 大成産業株式会社代表取締役社長
- 第83回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第84回/シュタルフ 悠紀 リヒャルトさん AC長野バルセイロ監督
- 第85回/若林 健太さん 衆議院議員
- 第86回/越原 照夫さん 株式会社まちづくり長野 常務取締役
- 第87回/FT Naked(エフティイー・ネイキッド):林 保之・林 栄一・寺沢 雄一郎・中田 寿寛・長谷川 裕晃

わいがやサロン

通信

Vol. 88
2023.1



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人
長野都市経営研究所

〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp

NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

社会人スタートは、ITバブル真っ只中の1999年。

第88回

デジタル田園都市国家構想を長野で実現する

講師／荒井 雄彦 さん

シソーラス株式会社 代表取締役

■座長代理:竜野 泰一 /会場:ホテル国際21 弥生の間 令和5年1月23日(月)18:00~19:15



1975年、東京に生まれ、奈良県生駒市に育つ。大学卒業後、ITベンチャー企業に5年従事した後、2004年、大阪に現会社の前身を設立。2019年、西宮市から家族とともに長野市に移住しシソーラス(株)DXセンターと(一社)長野ITコラボレーションプラットフォーム(NICOLLAP)を立ち上げ、現在に至る。

構造がそもそも問題の根本にある。受託型も衰退の危機に陥ると言っても過言でないのではないか。こうしたIT業界の構造転換のために自分は動くべきだ、長野で社会課題・地域課題に対する解決策を事業化したい——と、西宮からの移住を決意しました。

シソーラスの仕事・ビジョン

シソーラスは端的に言うインターネット×ソフトウェア技術を活用した新規事業(DX)の企画、デザイン、開発、運用、カスタマーサクセスを一通りで支援している会社です。具体例:プロアマ含めたサッカー選手とプロ各チームを繋ぐオンラインプラットフォームを構築。AC長野パルセイロの選手だった起業家のアイデアと想いをくみ取り、キャリアをサポート。例2:葬儀社業務の暗黙のノウハウをシステム化して一括管理したいという声に応じて葬儀社専用クラウド型ERPを構築し、市内各社の運用をサポート。

弊社のビジョンは新しい産業エコシステムを創り、「信州ITバレー構想」を実現すること。長野県をIT人材とIT産業の集積地という構想の実現に向け、北信地区を「ITを活用した新規事業にチャレンジする事業者とその支援者が集まる地域に」と産学官の集合体・(一社)長野ITコラボレーションプラットフォーム(NICOLLAP)を立ち上げて活動中です。

デジタル田園都市国家構想 ～ウェルビーイング～

日本のデジタルインフラは世界からかなり遅れを取っています。「デジタル田園都市国家構想」については「わいがや85」で若林健太衆議院議員が少し触れたようですが、岸田内閣の下、2021年に始動、昨年発足したデジタル庁の主管で、デジタルの力で新たなサービスや共助のビジネスモデルを生み出しながら、デジタルの恩恵を地域に届ける。言い換えると「生活者の幸せ(Well-Being)」「持続可能な環境・社会・経済」を実現するという抽象的ですが重要なことを目指しています。いま地方は人口減少、少子高齢化、産業空洞化などの社会課題に直面しています。これらの問題が全て悪いわけではなく、どれもが地域課題を生んでいる現象で、デジタルはこうした社会課題を解決するための鍵であり、新しい付加価値を生み出す源泉(とデジタル庁のHPは言っています)。例えば人口減少は供給が需要に合わせる経済



へ移行していくことで解決可能。では供給が需要に合わせるために必要なことは何か?リアルタイムで需要を認識できる仕組み、すなわち「いつ、誰が、何を欲しているのか」をデータとして収集できる仕組みをつくっていきましょう、と。データ収集のベースになるとされるのがマイナンバー。政府はマイナンバーカードの普及促進を進めて令和4年度末までにはほぼ全国民に行きわたることを目指していますが、交付枚数率の全国平均は53.9%、長野県は48.2%(22年11月末)。最近、長野市長がマイナカード取得を盛んに呼びかけるのは、交付率によって自治体への国費補助率が決まるからなのです。

同庁HPを見ていきましょう。構想が目指す成果指標が掲げられています。例えば市民の暮らしやすさについての89項目(身体:医療健康など/社会:子育てなど/精神:文化芸術など)や主要市町村住民にとってアンケート=客観的評価も閲覧可能です。

デジタル基盤を整備すれば人々の幸せにつながるといわれても分からないですよ。ですから、どんなプロセスで幸せを感じられるか、誇りをもてるかの仮説例(「地元農産物の地域内消費」「観光DXや地域通貨の導入」による域内経済の好循環)も掲載。今後、個人を特定しないデジタル基盤が徐々に進んでいくはずですが、いろんな事業者さんがIT投資して回収出来るよう、また長野市民が心身豊かに暮らせていけるよう我々はITをよりよく活用し支援していく所存です。

長野市のポテンシャル/Z世代

人生初めてのローカル生活、徒歩通勤も楽しみで、道すがら、中央通りでのインスピレーションはどこから生まれたのか考えることも。言わば長野市のポテンシャルは何か、と。門前町・宿場町として古くから全国から多様な人が集まり受容してきた素地がある。現在は県庁所在地・商業・生活空間・ビジネス空間が融合している。信大や長野県立大学、高専、複数の専門学校がある。それらをビジネスシーンに生かし実行すること、コストパフォーマンスも大事。我が社なりに長野のポテンシャルを受け入れて試行錯誤を惜しまないで進んでいこうと日々思っています。

都会でやっていた時とは異なるさまざまな方と交流でき、新鮮です。特に若者たち=ご近所さんの長野県立大学後町キャンパス寮の学生、会社見学に訪れる専門学生は生まれたときからIT(彼らに言わせるとネット)が当然なんですね。そんなZ世代は社会問題に対する意識が高いといわれています。収入の額より行動することを誇りに感じる割合が高く、社会に大きな影響を与え始めており、これからのビジネスを考えていくうえでもZ世代は重要です。

まとめ——デジタル田園都市国家構想を長野で実現するためには1.人口減少社会を受け入れ、適合していかなければならない。2.デジタル基盤は、適合していくために必要なインフラ。3.デジタル基盤を活かすためには、共助の取り組みが必要。4.地域住民のウェルビーイング向上を目指すべき指標。5.善光寺門前の中心市街地は、大きなポテンシャルを秘めています。

ご清聴ありがとうございました。

長野への移住のきっかけが「中央通りの風景、雰囲気…」と語られたとき、NUPRIの長年の取り組みが報われたと思ったことでした。

「サッカー選手」と「チーム」を繋ぐオンラインプラットフォームサービス
高校生や大学生などの育成世代から、アマチュア社会人、プロ選手まであらゆる選手のキャリアをサポート

当社の支援内容

- ビジネスモデル・ITシステムのブランドデザイン
 - ビジネスモデルの具体化(選定)
 - WEBプラットフォームの要件定義・基本設計
 - WEBプラットフォームのUI/UXデザイン
- WEBアプリケーションの設計・開発・リリース・運用
 - サーバーレスアーキテクチャの設計
 - WEBアプリケーションのフロントエンド開発
 - WEBアプリケーションのリリース
- サービスのブランドデザイン・プロモーション戦略
 - ビジュアルアイデンティティの構築・グラフィックデザイン
 - コーポレートサイトの企画・デザイン・制作
 - ブログ/ウェブサイトの企画・デザイン・制作

～UI・UXに特化したリッチなフロントエンド開発～

起業家のアイデアと想いを汲み取り、短時間で事業の立ち上げからPR戦略の実行までを支援

シソーラス(株)の一事業に各種スタートアップ支援がある。社名のシソーラスはギリシャ語で宝庫、辞典をさし、IT用語では情報検索を意味する。

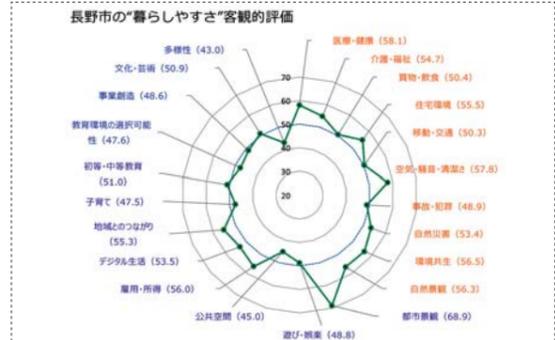
デジタル田園都市国家構想とは?

全国どこでも誰もが
便利で快適に
暮らせる社会を目指して

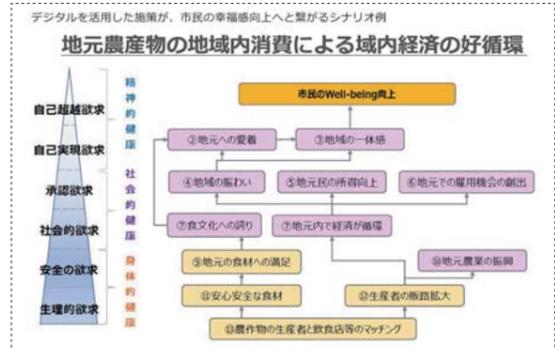
現在、地方は、人口減少や少子高齢化、産業空洞化など様々な社会課題に直面しています。デジタルは、こうした社会課題を解決するための鍵であり、新しい付加価値を生み出す源泉です。デジタル田園都市国家構想は、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ります。そして、「地方に都市の利便性も、都市に地方の豊かさも」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指します。

地域課題をデジタルの力で解決し、
生活者の幸せを実現する

デジタル庁「デジタル田園都市国家構想」JHPのトップページ



長野市の「暮らしやすさ」の客観的評価結果(デジタル庁「デジタル田園都市国家構想」JHPより)。市民が好評価しているのは都市景観、低評価は多様性など。



デジタルを活用した施策が市民の幸福向上へと繋がるシナリオ例「地元農産物の地域内消費による域内経済の好循環」(デジタル庁「デジタル田園都市国家構想」JHPより)

